

平成26年度 学校経営計画及び自己評価計画書

石川県立田鶴浜高等学校

学校長 三 嶋 達 也

1 教育目標

地域の医療・福祉に貢献できる有為な人材の育成

- ・人を尊び、自らも健全にたくましく生きる
- ・人を慈しみ、自らも技術の向上を図る
- ・人を愛し、自らも豊かな感受性を持つ

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 生徒は看護・福祉へ高い志を持って入学してくるが、その志を持ち続けることは容易ではなく、継続的な支援が必要である。
- ② 多くの専門知識・技術を習得する上で、生徒自らが意欲的に学ぶ姿勢を身に付けていけるよう、組織的な指導体制が求められている。
- ③ 看護・福祉に要求される基礎体力及び規範意識の育成を、より一層充実させていく必要がある。
- ④ 健康福祉科への志願者確保については十分とは言えず、地元を中心として学校理解や生徒募集に更なる取組強化を図っている。
- ⑤ 地元への関心の高まりと支援体制の充実により、地域の医療機関・福祉施設等への就職者が着実に増加している。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 看護師・介護福祉士の資格取得に必要な専門知識・技術を習得し、それぞれの職にふさわしい職業観・資質を確立する。
- ② 自律の精神を養うとともに、心身ともに逞しく生きる力を培う。
- ③ 何事にも自らの意志で、積極的に取り組む態度や他者を尊重する「思いやりの心」を育む。
- ④ 地域の歴史・伝統・文化について学び、ふるさとを愛する心を涵養することで、地域の医療・福祉に貢献する意識を高める。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 教職員としての使命を自覚し熱意を持って生徒に関わるとともに、保護者・地域・実習先と連携し信頼関係を構築する。
- ② 全教職員が学校運営への参画意識を持ち、学校経営計画に基づく教育活動を展開することにより、学校の教育力を最大限発揮する。
- ③ 生徒・保護者及び地域のニーズに的確に応えるとともに、学校の説明責任を果たし特色ある学校づくりを推進する。

3 今年度の重点目標

- ① 共通教科と専門教科の指導連携により学習意欲を喚起し、分かる授業への工夫改善に努め学力の向上を図る。
- ② 専門教科指導の充実とブランド化に向けた質の向上に努め、看護師・介護福祉士国家試験100%合格を継承する。
- ③ 地域の医療・福祉を支える人材確保に向け、本校が果たす役割の啓発に努め、志願者の開拓に取り組む。
- ④ 部活動や生徒会活動等への積極的参加を図り、看護や福祉の道を志す生徒にふさわしい人間力を育成する。